

2018年4月2日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2018年4月2日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<http://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに拡大している。3月短観（全産業、新ベース）をみると、企業の業況判断は悪化した（前回+24→今回+18）。企業収益は、増収傾向が続くなか、高水準を維持している（経常利益・前年比：17年度上期実績+55.0%→17年度下期見込み+4.4%→18年度上期計画▲9.1%）。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱含んでいる。輸出は、全体として高水準で推移している。設備投資は、堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きなどがみられることから、製造業を中心に増加している。個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、底堅く推移している。

こうした中で、生産は、全体として高水準で推移している。雇用情勢は、引き続き改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	緩やかに拡大している。	緩やかに拡大している。	
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	弱含んでいる。
	輸出	一部に国内向け出荷を優先する動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。	全体として高水準で推移している。
	設備投資	企業収益が改善するなかで、先行きの需要増加を見込む先が多いことから、増加している。	堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きなどがみられることから、製造業を中心に増加している。
	個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	底堅く推移している。	底堅く推移している。
生産	全体として高水準で推移している。	全体として高水準で推移している。	
雇用	引き続き改善している。	引き続き改善している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、弱含んでいる。

2月の公共工事請負金額をみると、市町村等の発注分が減少したことから、前年比マイナスとなった。

輸出は、全体として高水準で推移している。

設備投資は、堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きなどがみられることから、製造業を中心に増加している。

個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高は、春物衣料品の売行きが総じてみると低調であるものの、化粧品が引き続き堅調なほか、食料品も底堅く推移している。

乗用車販売は、新型車投入効果などから、堅調に推移している。

住宅投資は、底堅く推移している。

2月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年比マイナスとなった。

3. 生産

生産は、全体として高水準で推移している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	自動車向けを中心に、生産は高水準で推移している。
	電炉	建設向けを中心に、生産は増加している。
化学		アジア向けを中心に、生産は増加基調にある。
セメント		首都圏向けを中心に、生産は堅調に推移している。
住設機器		リフォーム向けを中心に、生産は高水準で推移している。
電気機械		海外向けを中心に、生産は大幅に増加している。
電子部品		自動車やスマートフォン関連を中心に、生産は大幅に増加している。
自動車		一部完成車メーカーの検査工程の改善と生産体制の立て直しにより、生産は回復している。

4. 雇用

雇用情勢は、引き続き改善している。

2月の有効求人倍率は、1.58倍（前年比+0.17ポイント）と、前年を上回った。

5. 物価

2月の消費者物価指数（北九州市の生鮮食品を除く総合ベース）は、前年比プラス（+1.3%）となった。

6. 企業倒産

2月の企業倒産（負債総額10百万円以上）をみると、件数は2件（前年同月9件）、負債総額は496百万円（同555百万円）となった。

7. 金融情勢

2月末の実質預金は、前年比2.8%増となった（前月同2.7%増）。貸出は、前年比3.1%増となった（前月同3.5%増）。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、1.216%となった（前月1.227%）。

以 上